

内管工事
新規参入の手引き

浜田ガス株式会社

目次

I. はじめに	・・・・・・・・・・ P. 2
II. 用語	・・・・・・・・・・ P. 3
III. 「指定工事店」	・・・・・・・・・・ P. 4
IV. 「指定工事店」の認定等	・・・・・・・・・・ P. 5

I. はじめに

本書は、浜田ガス㈱（以下「当社」といいます）の内管工事店となって当社の供給地域にて都市ガスの内管工事を行うことを希望される企業・個人の方に、その必要要件や手順等をご紹介しますために作成したものです。

都市ガスの設備（内管）は、ガス事業法で規定する「ガス工作物」にあたります。ガス工作物に関しては、ガス事業法第61条に規定されるガス工作物の技術基準適合維持義務が一般ガス導管事業者課せられているなど、ガス事業法や関連する法令等により様々な規定があり、一般ガス導管事業者はこれを全うする義務を負っています。そのため、一般ガス導管事業者である当社は、この責任を共に全うできることを前提に工事会社を選定しています。また、当社は、工事約款において「ガス工事は、当社に申し込んで頂き、当社が施工いたします。ただし、（以下略）」として内管工事を自らの管理下におき、当社としての技術基準やその他の諸基準を定め、当社から内管工事の設計・施工等を発注して実際に工事を行う工事店を適切に指導しながら、お客さまに安全、安心なガス設備をご提供するしくみとしております。

このような点が、都市ガス内管工事が他の設備工事と大きく異なっているところです。内管工事への新規参入を検討される企業の方々にとっては、この点を十分ご理解いただきつつご検討いただければ幸いです。

[参考]ガス事業法（抜粋）2017年4月1日施工

第61条 第1項

一般ガス導管事業者は、一般ガス事業の用に供するガス工作物を経済産業省令で定める技術上の基準に適合するように維持しなければならない。

第65条 第1項

一般ガス導管事業者は、経済産業省令で定めるところにより、ガス主任技術者免状の交付を受けている者であって、経済産業省令で定める実務の経験を有するものうちから、ガス主任技術者を選任し、一般ガス導管事業の用に供するガス工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督をさせなければならない。

第193条

ガス事業者の承諾を得ないでみだりにガス工作物の施設を変更した者は、五十万円以下罰金に処する。

Ⅱ. 用語

内管

お客様の敷地内のガス管（道路敷地境界からガス栓まで）をいいます。

灯外内管

内管のうち、メーターガス栓（ガスメーターの入り側にあるガス栓）より上流側をいいます。

灯内内管

内管のうち、メーターガス栓より下流側をいいます。

供給管

道路と並行に埋設されているガス管（本支管）から分岐してお客様の敷地へ引き込むガス管（分岐から道路敷地境界までの道路部分）をいいます。

新設工事

内管工事のうち、新しくガスメーターを取り付ける工事をいいます。道路からガス管の引き込み（供給管敷設工事を伴う）ものと、既設の灯外内管から分岐して行うものがあります。

増設工事等

本書では、新設工事以外の、増設工事（ガス栓を増やす工事）や位置替え工事（ガス管やガス栓の位置を変える工事）などを称して「増設工事等」と表記します。

指定工事店

当社と取引基本契約や、関連する覚書などを締結して、当社が発生する内管工事を行う工事店をいいます。

Ⅲ.「指定工事店」

当社の供給区域に於いてお客さまの内管工事を行うには、どのガス小売事業者からガスの供給を受けているかに関わらず、当社の指定工事店になる必要があります。企業活動として内管工事を行おうとする際には、十分ご検討の上、選択してください。

施工範囲の概要	体制・実績に応じた範囲の新設及び増設工事等。
必要な資格	(一社)日本ガス協会の業界統一資格(施工資格)。
当社との契約等に必要な資格。	厳格
お客さまとの取引。	当社の代行店として工事を受付。 お客さまとの取引主体は当社。
工事代金の流れ	お客さまからの代金は当社が工事店経由等で頂き、当社は工事店に材料費・労務費等を支払う。
お客さまに請求する工事の金額	公開された当社の単価表に記載された単価にて契約する。
使用材料と調達	原則、当社からの有償譲渡品のみを使用。
当社による管理・指導等	日常的に当社の管理・指導下にて工事等を行う。 定例会議や研修等への出席や参加が必要。
組織体制	管理者以下の指示系統の明確な組織である事が必要。 従事者は相当人数が必要。
必要な装備等	ワゴン車程度の工作者に機械工具類多数必要。

指定工事店になるには、所定の手数料と受講料などが必要です。

なおこの他に、既存の指定工事店と契約してその協力会社となり、施工者が所定の資格等を取得したうえで、指定工事店が受注した工事を指定工事の監督者のもとに施工することができます。これにつきましては、個々の指定工事店にご相談下さい。

IV.「指定工事店」の認定等

指定工事店の認定および指定工事店の施工する内管工事等について定める。

1. 認定の手順

- (1) 指定工事店になろうとする者は、この手引きを承認の上、当社に申し出る必要があります。
- (2) 当社は、要件を満たしていると認めるときは、当社の指定工事店として認定いたします。

2. 認定要件

- (1) 指定工事店は、次の要件をすべて満たす必要があります。
 - ① 建設業法に基づく管工業の許可を受けた者であること。
 - ② 過去3年間以上にわたって、管工事業を営んでいること。
 - ③ 取引上生じる債権の保全に十分な担保能力を有すること。また、連帯保証人がいること。
 - ④ 継続的に事業を営むに足る営業基盤を有すること。
 - ⑤ 所定の資格*を有する要員を雇用しており、業務に従事させ得ること。
 - ⑥ 当社供給区域での工事施工・緊急対応に支障をきたさない地域に事業所を有すること。
 - ⑦ 下記に定める欠格要件に該当しないこと。
- *日本ガス協会所定の内管工事資格は、指定工事店の認定を受けた後に取得する。

3. 欠格要件

- (1) 指定工事店は、下記の要件に該当してはいけません。
 - ① 精神の機能の障害により当該業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
 - ② 破産者であって復権を得ない者
 - ③ 指定工事会社の認定を取り消されて2年を経過してない者
 - ④ 反社会勢力と非難されるべき関係がある者
 - ⑤ 商法上の会社整理中の者、もしくは民事再生法または会社更生法の適用を受けている者
 - ⑥ 差押え、仮差押え、仮処分、租税滞納分、その他公権力の処分または銀行取引停止等の処分を過去に受けた者
 - ⑦ 債務超過または資本欠損の者
 - ⑧ 経常損益または税引後利益の欠損が連続している者
 - ⑨ その他当社が別途定める要件に該当する者

4. 工事範囲

- (1) 指定工事店が有する資格等に応じて定める要件に該当する者

5. 資格

- (1) 日本ガス協会の内管工事資格を保有する者が施工または監督する必要があります。

【参考】日本ガス協会 内管工事資格制度の資格区分と主な対象工事

資格区分		主な対象工事
基本資格	第3種内管工事士	燃焼機器の取替等に伴うフレキ管による軽微な増設・変更工事
	第2種内管工事士	戸建住宅・小規模集合住宅等の新築工事
	第1種内管工事士	大規模集合住宅・商業用建物等の新築工事
	内管溶接管理士	大規模商業用建物・工場等の中圧の溶接工事の指示確認
付加資格	ねじ工事	燃焼機器の取替等に伴うねじ配管による軽微な増設・変更工事
	活工事	灯外内管からの活管のせん孔取出工事
	低圧溶接	大規模集合住宅・商業用建物等の低圧の溶接工事の指示確認

6. 材料仕様

- (1) 工事で使用する材料は、ガス事業法令及び当社で定める材料、設計及び施工基準に適合するものを使用してはならない。
- (2) 当社は託送供給約款に基づき、工事申込者が工事材料を提供する場合には検査を行い、それを用いることがあります。ただし、ガス事業法令の定める基準に適合していることを要します。また、その工事材料の検査料について負担していただく場合があります。

7. 認定の取り消し等

- (1) 指定工事店が当社の定める事項に該当する場合は、当社は、指定工事店の認定を取り消すことができます。

8. 保安・品質確保および諸施策への協力

- (1) 指定工事店は当社と協力して保安。品質確保、お客さま満足向上および都市ガスの普及拡大に向けて取り組むとともに、当社が定めた諸施策へ協力をしなければなりません。
- (2) 指定工事店は、工事を施工する者に法令に基づく当社所定の講習およびその他必要に応じた講習等を受講させ終了させなければなりません。
- (3) 別途定める基準により施工後の検査を行い、基準を満たしていない場合は手直しなどの対応を求めることができます。
- (4) 緊急時または災害時等体制の構築に関する覚書の締結を求める場合があります。